

アロハ PC1 ソフトウェア会社様用 FAQ

1. 通信仕様について知りたい

- ・ホームページに機能仕様書があるのでダウンロードしてください。別途アクロバットリーダーが必要となります。機能仕様書の二次転載、転売等は固くお断り致します。

2. 通信する為の関数、ライブラリ、コントロール (OCX) 等は用意されていますか？

- ・用意しておりません。Visual Basic で開発を行っている場合でしたら、コミュニケーションコントロールという RS232C を制御できるコントロールが存在するのでそれをご利用下さい。コミュニケーションコントロールの詳細については VB のヘルプをご参照下さい。Visual Basic 以外の開発言語をご利用の方は、Win32API からご利用下さい。

3. ソフト開発段階で RS232C からの信号を視覚的に見たい

- ・オンラインソフトで RS232C ラインモニタがありますのでお客様の使いやすいソフトを検索してください。オンラインソフト掲載 HP では、ベクターが有名です。フリーウェアとシェアウェアがありますので、よくご確認の上、ダウンロード及び使用して下さい。使用方法については各ソフトのヘルプをご覧になって下さい。当社ではサポートしません。
- ・ベクター : <http://www.vector.co.jp/>

4. 機能仕様書に掲載されている以外にコマンドがありますか？

- ・ありません。M コマンド及び D コマンドのみとなります。

5. データ受信時のフォーマットはテキスト形式ですか？

- ・機能仕様書に STX、ETX、ACK、NAK があるかと思いますが、これらはテキストではありません。アスキーコードで表記する必要があります。

アスキーコード表

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA008536/data/ascii.html>

例えば STX なら、STX\$ = Chr\$(&H2) です。

番号部分は通常のテキストとなりますので、4 なら「4」、0 なら「0」が対応します。

6. ACK を送信しても再度着信データが送られてくる。

- ・ACK はアスキーコードで送信して下さい。 ACK\$ = Chr\$(&H6)

7. ACK をアスキーコードで送信しても再度着信データが送られてくる。

Visual Basic でコミュニケーションコントロールを使用している時
まず送信バッファ (プロパティ : OutBufferSize) をクリアしてください。

(1) 二回目のコマンドを送る前に、RTSEnable のプロパティを一旦 False にしてから再度 True に変更する。
False にしてから再度 True にするまでにわずかな時間を入れる等してみてください。(空のループ文 for next
を入れる等)

(2) 二回目のコマンドを送る前に、関数 Doevents を使用する。戻り値の変数は適当なもので構いません。
Doevents の意味合いについては VB のヘルプを参照してください。

コミュニケーションコントロールを使用していないとき、または、他の開発言語を使用しているとき
まず送信バッファをクリアしてください。RS232C の送信・受信ラインを一旦使用不可に設定してから
再度使用可能に設定し、2 回目のコマンドを送ってみて下さい。

- 8 . M コマンド (n=01 ~ 30) を連続実施中、2 回目 (n=02) 以降データが受け取れないことがある。
・ 7 を参照してください。
- 9 . D コマンドを実施し、2 回目以降データが送信できないことがある。
・ 7 を参照してください。
- 1 0 . 着信時間と着信番号はひとつのデータで送られてくるのか？
・ STX と ETX の間に両方のデータが含まれます。固定長データなので、文字列取得・分割関数等を利用してデータを分割してご利用下さい。詳しいフォーマットは、機能仕様書をご参照下さい。
- 1 1 . パソコン上からアロハ PC1 の時計の設定を行いたい。
・ 設定できません。
- 1 2 . パソコン上から直接発信を行いたい。
・ できません。発信を行いたい番号に関して D コマンドを実施し、アロハ PC1 から発信を行ってください。アロハ PC1 の DP、PB 設定は、あらかじめお客様の回線に合わせておく必要があります。
- 1 3 . 独自のソフトを開発するにあたり、PC1 使用ライセンス料を支払う必要ありますか？
・ 必要ありません。アロハ PC1 は購入して頂く形となります。
- 1 4 . 非通知や公衆電話の場合の着信はどうなるのか？
・ 非通知「P」、表示圏外「O または S」、公衆電話「C」、- E - 「E」、残り 19 キャラクタにはスペース (20H) がはいります。詳しいフォーマットは、機能仕様書をご参照下さい。
- 1 5 . 着信データを受信できない。
・ まず、ハードウェアの接続状況をご確認下さい。RS232C コードはストレートケーブルを使用していますか？ RS232C コードはアロハ PC1 とパソコンのシリアルポートにしっかりと接続されていますか？
・ 次にソフトウェアのプログラム確認を行ってください。通信フォーマットの設定を間違っていないか？ RS232C のポート番号指定を間違っていないか？ RS232C のポートはオープンしていますか？
- 1 6 . アロハ PC1 はどの OS (Linux、Mac 等) でも利用できますか？
・ 当社では (Linux、Mac) での動作検証は行っておりません。使用する場合は、シリアルデータを受信・サポートできる環境が必須となり、ソフトウェアもそれらの OS に対応させる必要があります。

これらの FAQ をお読みになっても分からない事項がありましたら、営業部までご連絡下さい。